

# LIBRARY NEWS 北陵

2023年11月 図書館だより 第2号



## ◆2023年第2号発行について

プロ野球の世界では、日本シリーズで「阪神」対「オリックス」の関西対決で盛り上がっていますが、その前のセリーグ優勝を目指して、阪神の岡田監督が「アレ」という言葉を用いたのは、その目標の遠さを表現するのに将に絶妙でした。「コレ」「ソレ」では目標の距離表現としては近すぎ、それを聞いた人たちは実感を持ってないと思います。

言葉にこだわり、敏感になることは、相手に自分の意志を伝えるうえでも、相手の考えを理解するうえでもとても大切になってきます。読書の機会を増やし、さまざまな著者が自分の思いをどう表現しているか楽しんでみませんか。(図書担当：藤原茂洋)

## ◆令和5年後期図書委員長 岡部 風香(2年1組)挨拶

後期図書委員長を務めさせていただくことになりました岡部風香です。みなさんは図書室といえばどんなイメージを持っていますか？なんとなく入りにくかったり、静かすぎると思う人もいるかも知れません。実際、川西北陵高校の図書室はとても静かで落ち着いた雰囲気をしています。みなさん、そんな図書室をもっと有効活用してみませんか。図書室は本を読むためだけの場所？いいえ、そんなことはありません。心地よい室温と集中しやすい静寂は、勉強をするのにとっても適しているのではないのでしょうか。図書室はみなさんの頑張りを支えてくれる良い環境になるはずですよ。ぜひ利用してみてくださいね。

## ◆令和5年度後期副委員長 田村 唄音(2年5組)挨拶

暑い夏も終わりもうすっかり秋です。読書の秋がきました。みなさんは最近読書をしていますか？読書をするのはメリットばかりです。主に言われているのが、記憶力や集中力が向上する、文章力が向上する、語彙力が上がりコミュニケーション能力があがる、そしてストレス発散になることから長生きにつながるまでもいわれています。とにかく読書は良いことばかりもたらしてくれるのです。でも読書は時間がかかるし勉強や部活に追われて読書が出来ていないという方も多いのではないのでしょうか。そんな方に私から一つご提案があります。読書を毎日の習慣にしてみてください。1日1回自分が1番読みやすいタイミングでかつ自分の負担にならない量を決めて毎日読書をしてください。毎日の積み重ねがきっとあなたにとってプラスになるでしょう。皆さんの生活が読書の習慣化をおして有意義になりますように。

《連絡》・・・・・・・・・・・・・・・・

上記図書委員長の挨拶にもあるように、図書室は自習場所として利用できます。1学期末頃には自習利用者は多かったですが、最近少ないようです。どうぞご活用ください。

本の紹介 本年度後期購入図書(2学期末頃展示予定)から3冊を紹介します。

## ◆『ロバのスーコと旅をする』 高田晃太著



イランで2頭のオスロバと、トルコで“ソロツベ”と、モロッコで“スーコ”と…。ロバとの旅路がSNSで話題を集めた著者が彼らと歩いた日々、出会い、別れ、葛藤を綴る。ロバと歩くことで、見える世界がある一。

## ◆『猫にならって』 佐川光晴著



ときには、猫のように生きてみる。高校生、バーの店員、獣医師……のら猫との出会いと、生命をめぐる8つの物語。  
・病気で臥せっている小学生・芳子の部屋で子猫が4匹生まれた。芳子は小さな子猫チビのことが気になり……(「ミー子のおしえ」)。  
・高校を中退し新宿二丁目のゲイバーで働いているエイイチ。ごみ収集を生業にしながら、のら猫をバーの屋上に住まわせている伝説の「エルヴィスさん」と出会い……(「逃げればいい」)。  
・孤独な獣医の湯出。思いがけないトラブルから逮捕されてしまい……(「猫の恩返し」)。など

## ◆『[メンタルモンスター]になる』 長友佑都著



日本サッカー史上初めて4大会連続ワールドカップ出場を目指す、長友佑都。2010年南アフリカ、2014年ブラジル、2018年ロシア、そして2022年カタールと12年間にわたり、日本代表のレギュラーとして戦い続けてきた著者だからこそ語れる、予選・本戦を含めた苦闘の歴史と舞台裏。さらに、35歳でトップレベルを維持し続けている秘訣、批判を肥やしにしてエネルギーに変える、著者ならではのメンタルコントロール術など、激動のサッカー人生を振り返る、集大成の一冊。

《編集後記》・・・・・・・・・・・・・・・・

本年度後期購入図書は、上記3冊以外にもたくさんあります。納品次第図書室入口左手書棚に表紙が見えるように並べます。ぜひ手に取って見てください(藤原茂洋)